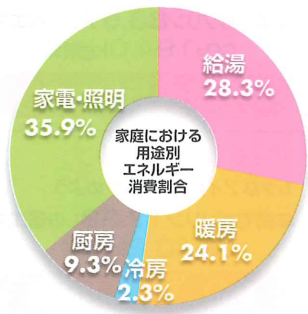


省エネしながら、快適なライフスタイルを

茨城県では、年間を通して環境に配慮したライフスタイルを実践する県民運動「いばらきエコスタイル」を推進しています。

地球温暖化対策を進めるためには、私たち一人一人が環境に配慮して、日々のライフスタイルを少しずつ変えていくことが大切です。

家庭や職場などの身近なところで、できるエコからはじめましょう。



出典:経済産業省資源エネルギー庁「エネルギー白書2018」

家庭では、給湯や暖房に使われるエネルギーが非常に多く、半分以上を占めています。

家庭の省エネを進めるには、給湯や暖房における省エネを進めることがポイントです。

また、家電や照明にも、エネルギーの3割以上が使われていることが分かります。

毎日のお料理でもエネルギーのムダをなくそう！

毎日の料理でも、食材の輸送から調理中、調理ゴミ・食べ残しの廃棄処理まで、エネルギーを使っています。地元の食品を選ぶ、適切な調理器具を使う、ゴミを減らすといった工夫で、おいしさを損なわずにエネルギーのムダを減らすことができます。

<料理の際に取り組める身近なエコスタイル>

- ◆地元の食材を選ぶ
- ◆火加減はなべ底をはみ出さない程度に調節
- ◆加熱時には蓋をする
- ◆生ごみの量を減らす



「使い捨て」のライフスタイルを変えよう！

茨城県の平成28年度のゴミ総排出量はおよそ 1,061kt にものぼっています。ゴミの削減は環境保全に繋がるだけでなく、焼却処分等で発生するCO₂の量を減らすことにも繋がります。

<ゴミを減らすための身近な工夫>

- ◆過剰包装や使い捨て食器類を断って、マイバッグやマイボトル等を活用
- ◆使わなくなったものは欲しい人に譲る
- ◆ゴミと資源は適切に分別して捨てる



出展:2016年度環境省調査

宅配便の再配達を減らそう！

2017年の宅配便の取扱個数のうち約2割が再配達となっています。再配達のトラックから排出されるCO₂の量は年間でおおよそ 42万トンと推計されており、山手線の内側 2.5 個分と同じ広さのスギ林の年間CO₂吸収量に相当します。

<再配達削減のために活用をお願いしたい3つのこと>

- ◆日にち・時間帯指定の活用
- ◆各事業者の提供しているコミュニケーション・ツール等（メール・アプリ等）の活用
- ◆コンビニ受取や宅配ロッカーなど、自宅以外での受取方法の活用



出展:2015年度及び2018年度国土交通省調査

お問い合わせ

- ◆茨城県県民生活環境部環境政策課地球温暖化対策グループ

☎029-301-2939

- ◆茨城県地球温暖化防止活動推進センター（一社）茨城県環境管理協会内

☎029-248-7431



発行:茨城県県民生活環境部環境政策課

いばらきエコスタイル

できるエコからはじめよう



一人一人の取り組みが
地球温暖化対策につながります

茨城県 市町村 茨城県地球温暖化防止活動推進センター
環境保全茨城県民会議